

曳博だより

2018.11



編集・発行：(公財)長浜曳山文化協会 〒526-0059 滋賀県長浜市元浜町14-8 TEL 0749-65-3300 FAX 0749-65-3440
【ホームページ】<http://www.nagahama-hikiyama.or.jp/> 【Facebook】<https://www.facebook.com/hikiyamabunka/>

平成三十一年度 長浜曳山祭に向けて

長浜市曳山博物館

館長 岡本 保男

菊香る 錦秋の候 皆様には、平素より曳山博物館の運営に関しまして格別のご支援ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

長浜曳山祭もユネスコ登録を受けて三年目となり、当曳山文化協会も登録により、市民を始め、山組関係者の機運の高まりがあるあいだに、従来から検討されてきた諸問題解決に向け、總当番の皆様を始め、山組のあり方に興味を持たれている山組関係者はもとより、市民の皆様にお力添えを頂き、今年を含め前五年間の總当番委員長、副委員長経験者の方々にお集まり願ひ、当協会理事長の諮問を受けてご協議検討頂き、答申をいただく機関の創設をお願いしました。

また「曳山まつりをより推進する」組織として、山組の代表の方、十三人と地域住民の代表者、祭りを推進する行政関係者、学識経験者にお集まりいただき、各々の立場での祭りに対する課題等をご提示いただき、そのあり方、方向性を探り当てられるよう「長浜曳山まつり推進会議」を組織化して問題の解決につなげて頂こうと動き始めたところでございます。

ユネスコ登録を受けて、世界から長浜曳山祭の重要な役割、責任が課せられておりますので、見識高い皆さまにてご協議、ご提案を期待するところであります。

祭りの執行者であります平成三十一年度長浜曳山祭の總当番が十一月一日の總当番初集會を開かれ、いよいよ本格的に祭りがスタートしたところであります。

平成三十一年度總当番委員の皆さまには連委員長を始めとする十三人の委員の皆さまに、心底より敬意を表し、感謝申しあげる次第でございます。

本年の總当番委員の皆さまには、曳山祭を運営していく中で、旧来の祭りの伝統、しきたりを改めて見直し、委員十三名と、祭り関係者全員が、行事の再確認をして、同じ立場で祭り運営に当たりたいと、三度に亘って勉強會を開催いただいております。このように、画期的な発想によって準備が進めておられます。

今から春の風物詩である「長浜曳山祭」が盛大に開催されることをご祈念申し上げます次第です。

平成三〇年度 第一回 市民曳山まつり講座 短編映画『桑の実』の試写会を通してみる曳山まつり

長浜曳山文化協会 伝承委員会では、平成30年10月13日に市民曳山まつり講座「短編映画『桑の実』の試写会を通してみる曳山まつり」を開催しました。

短編映画『桑の実』は今年の長浜曳山祭の出番山が全面的に協力されています。また、長浜曳山祭ユネスコ無形文化遺産登録推進イメージソングの「愛する長浜」も映画に挿入されています。

市民曳山まつり講座は募集をかけてすぐに満席になり、急遽16時の部を追加しましたが、それでもお断りしなければならぬほどの盛況で、本当にたくさんの方にご参加いただきました。



短編映画の上映



講演のようす

三役修業塾 定期発表会

次回発表会のお知らせ

場所 曳山博物館 『伝承スタジオ』
時間 14時開演 **【予約不要・入場無料】**

平成30年12月9日(日)

- 1、絵本太功記 十段目 尼ヶ崎の段(前)
浄瑠璃 竹本 龍豊太夫、三味線 千與龍
- 2、絵本太功記 十段目 尼ヶ崎の段(中)
浄瑠璃 竹本 甚太夫、三味線 豊澤 龍三

平成31年1月27日(日)

- 1、寿式 三番叟
浄瑠璃 岸田 健太、三味線 中川 太吾、山田 蒼生
- 2、恋飛脚 大和往来 新口村の段
浄瑠璃 竹本 壽太夫、三味線 豊澤 楓賀

塾生の日頃の鍛錬の成果をご覧ください。



義太夫部門



振付部門 初の発表会

講師プロフィール

谷口 未央氏 (映画監督)



1978年生まれ。2歳より小学校6年生まで滋賀県長浜市で育つ。2008年より上京し映画製作を学ぶ。2012年、主に長浜市で撮影した『仇討ち』が多く、映画祭で高い評価を得る。2017年、『矢田川のバツ』伊藤田美子原作、ショートストーリー『や』の監督公募に選出。2018年、『彦とヘガ』の脚本が、伊参スタジオ映画祭シナリオ大賞2018(中編の部)大賞を受賞し、2014年に自ら監督し映画化(川津祐介、原知佐子主演)。同作品は、「あいち国際女性映画祭2019」フィルムコンペティション「長編フィルム部門グランプリ(金のフハズク賞)」に輝き、2019年夏より東京を皮切りに全国で劇場公開された。『彦とヘガ』(ホムヘージ) <http://horo-vega.com/> 現在、長浜曳山まつり映画『いぶきの祭り(仮題)』を準備中。

今後の展示について

すっかり涼しくなり、今年も残すところあと2か月足らずになってまいりました。10月4日から11月4日までの会期で開催しておりました企画展「曳山を彩る絵師たちⅢ 八木奇峰」にはたくさんのお客様にご来場いただき、奇峰の作品を観ていただくことができました。今月の曳山博便りでは、少し早いですが、来年に開催予定の特別展と企画展についてご紹介させていただきます。

まず年が明けますと、1月31日より3月上旬までの会期で、特別展「歌舞伎―誕生から子ども狂言まで―」を開催予定です。この特別展では、歌舞伎・祭礼における芸能・曳山という長浜曳山祭の核となる三つの要素がどのような歴史を持っているのか、またどのように発展を遂げてきたのかということについて、それらが描かれた絵画を手掛かりとして皆様にご紹介できればと思っております。

展示予定の資料に関しては後日改めて詳しくご紹介いたしますが、豪華絢爛な屏風絵や、華やかで迫力のある錦絵など見ごたえのある絵画作品、また江戸時代の長浜曳山祭に関する資料も多数展示予定です。特別展の会期は、ちょうど長浜で盆梅展が開催される時期とも重なりますので、ぜひとも多くの方にお越しいただきたいと思えます。

この特別展が終わりますと、4月末より親鸞聖人と大通寺に焦点を当てた企画展を開催予定です。来年は親鸞聖人の750回御遠忌が執り行われる年です。親鸞聖人を宗祖とする真宗大谷派の寺院である大通寺でも、来年の5月に盛大に法要が執り行われます。この50年に一度の御遠忌にあわせて、当館でも親鸞聖人と大通寺に関する資料を展示したく、現在企画を練っております。おそらくは、大通寺に伝わる貴重な絵画作品などを中心とした展示になるかとおもいます。今月号でご報告できることはまだ少ないですが、ぜひとも続報をお待ちください。

山組マンスリー 今後の予定について

「曳山博物館山組マンスリー」とは、1か月ごとに、各山組が担当して、博物館を活用し、来館者に長浜曳山祭や曳山の魅力について独自の視点から紹介・PRをしていただく企画です。長浜曳山祭のユネスコ無形文化遺産登録に向けた取り組みの一環として始まり、この11月で13の山組が2巡します。

これまでは市民サロン(無料スペース)を活用し各山組独自の展示をしていただいたり、来館者への展示解説を、山組の方に直接していただいたり、しゃぎりの演奏を披露するなど、様々な形でPRをしていただきました。

先日開催されたマンスリー部会で、今後もこの活動を続けていく方向で決定しました。

山組関係者の皆様には、今後とも活動にご協力いただきますようお願いいたします。また文化協会職員も一緒になって取り組み、盛り上げていきたいと考えております。



市民サロンでの展示



中老による展示説明



しゃぎりの演奏

- 平成31年
- 1月 長刀組
 - 2月 青海山
 - 3月 諫鼓山
 - 4月 曳山博物館
 - 5月 月宮殿
 - 6月 常磐山
 - 7月 翁山
 - 8月 鳳凰山
 - 9月 高砂山
 - 10月 壽山
 - 11月 春日山
 - 12月 曳山博物館
 - 1月 狸々丸
 - 2月 萬歳樓



「修理ドック」から

平成30年度は、修理ドックに北町組青海山を収蔵しています。青海山は、楽屋木部修理と舞台障子修理等のために本年度はお預かりしています。今回も、舞台障子修理についてご報告致します。

青海山の舞台障子修理は、表具師の坂田墨珠堂にて岩絵具の浮いた部分を押さえる作業をおこなっています。舞台障子は、最初曳山博物館から大津市の坂田墨珠堂まで搬入する際、自動車の振動で絵具が剥落しないように画面を養生して運搬されました。事前の破損状況確認は次のとおりです。

- ① 本紙の絵画部分は概ね健全ですが、絵画に使用された絵具の剥落が進行し、剥落箇所では金箔や下書き線が露出しています。
- ② 絵具層が、層状に浮き上がっている箇所が数か所あり、剥落の進行が懸念されます。
- ③ 画面全体に、擦れや打突等による本紙料紙の破損・めくれ等がみられ、部分的に金箔の剥がれも確認できます。

④ 白色顔料を使用した彩色部分では、黒や灰色のシミ汚れが確認できます。

以上のように舞台障子は、部分的な細部の絵具の剥落は進行していますが、本紙や下層部の接着は健全であることが確認されました。そこで舞台障子は、腰板と絵画本紙を剥がす本格的な解体修理は行わず、彩色部分の剥落止め処置と料紙破損部分の補修を行うこととなりました。また、絵画部分で欠失した箇所を書き起しや着色は行いません。(つづく)



坂田墨珠堂にて解体された舞台障子腰襖



NAGAHAMA HIKIYAMA MUSEUM

曳山博物館

ON THE CROSSROAD OF OTEMON St. AND HAKUBTSUKAN Ave.

発行日:平成30年11月1日



企画展

10月4日～11月4日
曳山を彩る絵師たち③「八木奇峰」

曳山の展示

12月16日～4月5日
曳山二基公開
【孔雀山、萬歳樓】

10月1日～12月15日
曳山二基公開
【翁山、常磐山】

平成31年、長浜曳山祭の出番山が、ご覧いただけます。

展示のお知らせ

